

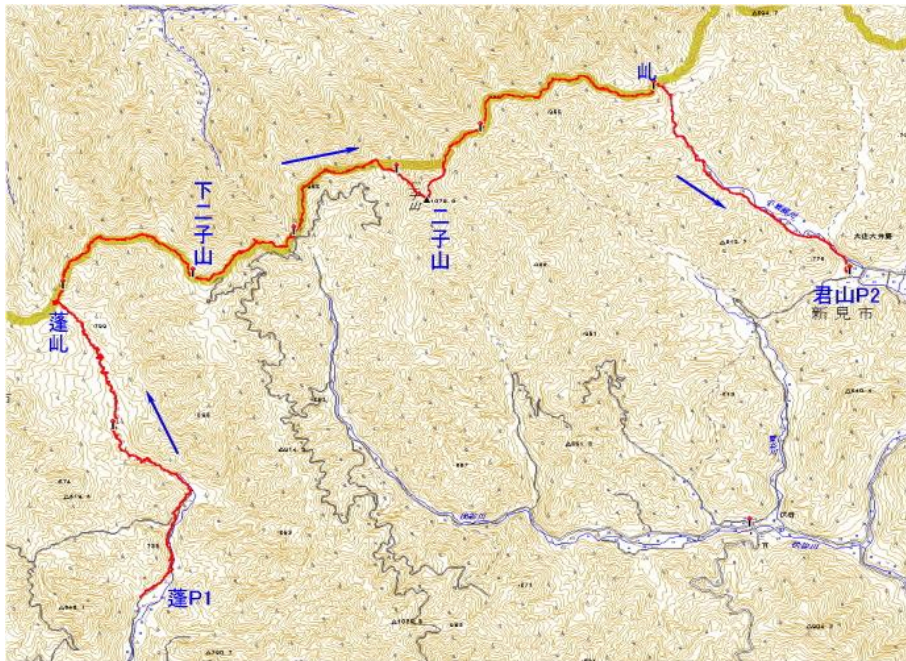
第10回 蓬岨～下二子山～二子山～小坂部川越 平成25年2月20日(水)晴

行程

君山 F 車デポ 7:54～181号180号経由～蓬 K 車 8:45～蓬岨 10:15～下二子山 11:30
～伏谷岨昼食 12:02～12:30～二子山 13:44～小坂部川越 15:26～君山 16:13

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 佐々木順栄 角原鶴子



今回の特徴は車配置がこれ迄にない大周回となることです。

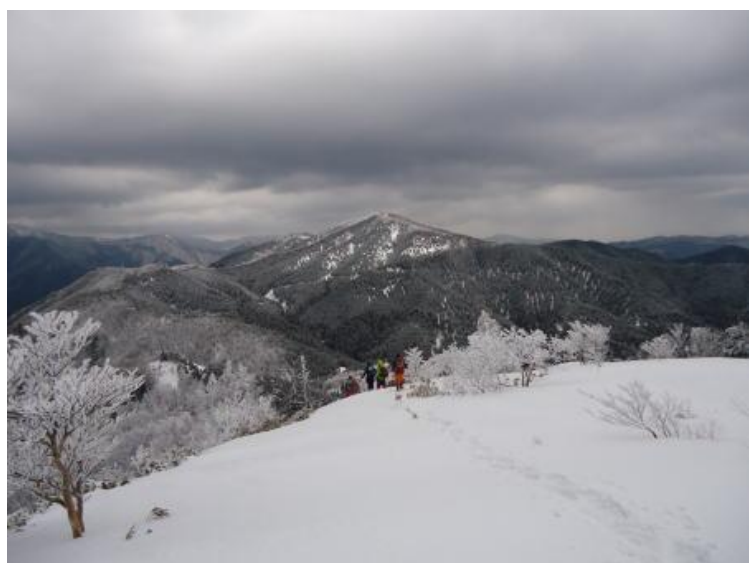
早朝の大佐ダム道路は全面凍結となっている。私のFR車は何度かスピンスライドしながらも目的の大佐君山集落に着いた。F車をP2にデポし、鳥取県の国道181号に抜け、180号明智トンネルを経由して今日の出発点蓬P1に着いた。

前回の蓬の最奥の

民家傍に駐車させて貰い歩き始めた。なが～い林道歩きです。蓬岨からが今日の始まりです。まずは150mの登りだ。木立を抜けると樹氷の広場、そして樹氷尾根歩きです。こんな時、登って来て良かったとつくづく思います。下二子山(4等点名三土1035.0m)に到着した。一旦下って次が二子山です。

上の地図で分かるように二子山付近では県境が鳥取県側の谷を横切っているのです。これまでの踏査では県境と中央分水嶺はピタリと一致していたが、こんな場所もあるのです。という訳でタイトルを県境歩きから分水嶺に変更した次第です。今後も分水を優先して踏査します。

写真正面は下二子山からの二子山です。



第11回 小坂部川越～出雲街道四十曲峠

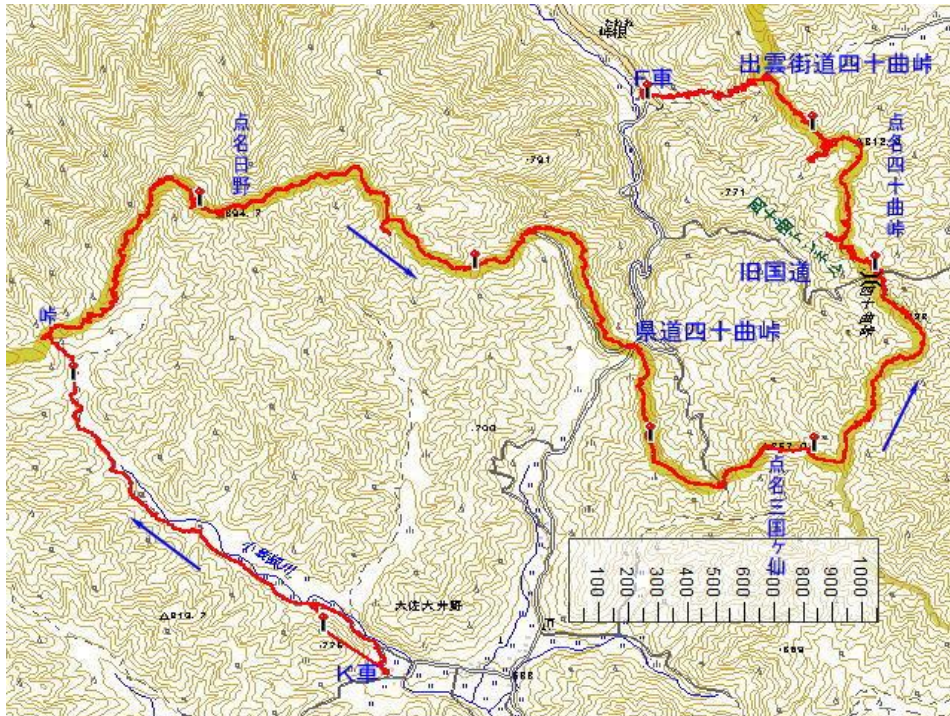
平成25年2月28日(木) 快晴

行程

四十曲トンネル出口F車デポ 7:38～K地点出発 8:00-峠 8:48-4等日野 9:50-
県道四十曲峠 11:22-3等三国ヶ仙 12:08-昼食 12:20～12:59-旧国道四十曲峠 13:
38-出雲街道四十曲峠 14:56-四十曲トンネル 15:33

隊員

船越 仁 角原 寛 赤木貴久子 佐々木順栄 角原鶴子



歩き始めは良い調子、先週の自分達の跡を踏みながら、峠迄は楽勝か。ところがそうは行かず、直ぐにカンジキ装着と相成りました。1時間もかからず、思いの外早く先日のリボン地点に到着です。

稜線上に古木あり、今朝も車で通った県道四十曲峠を私達はカンジキ履いた

まま横断し、直ぐに又登り始めました。雪は大分緩んでいます。暖かい春の日差しや、雨でも降れば雪が無くなる、心細い限りです。

昼食中、人声がする。これまで人声を聞いたこと無かった我々の分水嶺歩き、さては猟師か？ 鉄砲玉に気を付けよう。んっ！登山者ではないか。倉労さんとのことで暫く山談義して双方に分かれた。我々もメジャーな地域に戻って来たということか。

縣界東宮殿下行啓記念碑（大正15年）と岡山県標識の鉄柱にヨコハマタイヤの広告板、現在のトンネルが出来る前は陰陽を結ぶ基幹道路だったことが偲ばれる。



第12回 出雲街道～坊主山～西毛無山～毛無山 平成25年3月4日(木) 快晴

行程

田浪 P7 : 43～二ツ橋 P8 : 05－四十曲峠 8 : 25－坊主山 (3等三角点) 961.9m 10 : 04－1060ピーク 11 : 19－西毛無山 13 : 15－毛無山 (3等田浪) 14 : 11－田浪 P15 : 21

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 佐々木順栄 角原鶴子 丹治千束



県道 58 から田浪への地方道に入ると昨夜の雪で路面は白い。田浪の駐車場に F 車をデポし、引き返して二ツ橋集落に入る。出雲街道の最終除雪地点に K 車を駐車して歩き始めた。四十曲峠迄は明瞭な足跡が残っており、朝の冷え込みも効いて比較的歩き易い。今日は新人 1 名が加わった。

出雲街道の四十曲峠からが今日の本番だ。直ぐにカンジキ装着となったが良い雪です。5 日前のたくやさんのトレースが微かに残っている場所もある。

これは熊棚か。先日のニュースで岡山県内のツキノワグマの生息数は 200 頭を超えるとの推計もあるという。3 月は未だ冬眠中だろうが、びっくりさせたらとんでもないことになる。いざ出会ったらどうするか？熊を見ながら後ずさりするのが良いと聞く。熊避けスプレーの効果は？

振り返ると坊主山の北面が見える。その頂上直下はゴリゴリのアイスで珍しい急降下だった。こんな下降はスノーシューよりカンジキの方がやや有利です。ちなみに我々全員カンジキです。尾根に突如現れた岩を越え、下から白い帯に見えていた雪庇を登ると 1060 ピークです。

陽だまりのコルで昼食を摂った後、西毛無に向かう。大木ブナの森を抜けると樹氷の西毛無山です。樹氷の向こうに大山も見える。遂に毛無山頂上に到達した。

さあ下山です。皆、勝手に我が道を下ったり、尻セードを満喫した。

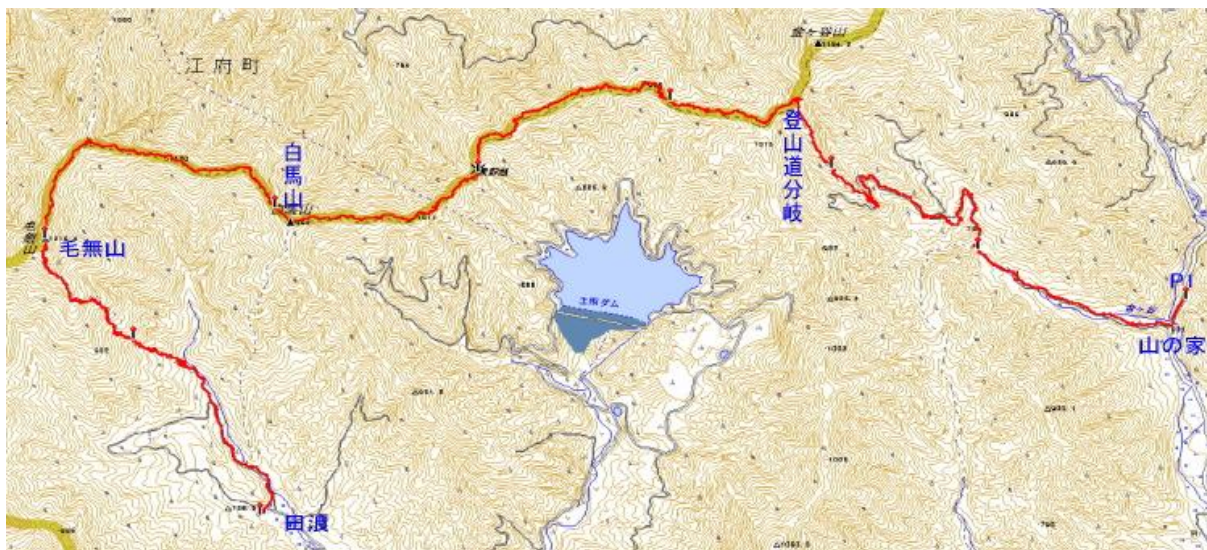
第13回 毛無山～白馬山～金ヶ谷山登山道

平成25年3月6日（水）快晴

行程

新庄山の家車デポ 7:28～田浪 P7:59－毛無山 9:41－カタクリ広場 10:00－白馬山 10:49－俣野越昼食 11:22～11:51－金ヶ谷山登山道 13:25－林道 14:01－山の家 15:15

隊員
船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 佐々木順栄 角原鶴子



天気予報は全国晴マークです。「白銀の毛無山に登ります。大山見放題！」のキャッチフレーズで新人参加者を募集した。残念ながら、見事期待外れでした。でも、キャッチコピー以上の最高の雪質です。沈まない硬い雪表です。楽しいキックステップも3合目上部でアイゼン装着とした。先は長い、体力温存して出来るだけらしくしよう。今冬の県境歩きでは初アイゼンです。

毛無山頂上直下です。蒜山 SA では雲にお隠れ遊ばしていた大山は如何に？お見事！

白馬に向け、大山見放題の縦走の始まりです。しっかりした雪庇歩きも縦走の醍醐味です。白馬山通過、ここで沢山のトレースとはお別れです。我々の前には一人のツボ足トレースが伸びている。今朝の踏み跡のようだ。帰宅後ネットで調べると km-surf さんだと判明した。痩せ尾根稜線にさしかかった。腐れ雪で鳥取側に落ちたらとんでもないことになる。50m 程は岡山側をトラバースした。それも南斜面なので笹上の雪が滑り易い。やっと金ヶ谷山登山道に着いた。



あわよくば朝鍋越もありと思っていたのだが今日は此処までです。

第14回 金ヶ谷山～朝鍋鷲ヶ山～三平山

平成25年3月10日(日) 雨

行程

山の家 7:52 - 短絡尾根取付 9:06 - 登山口 9:30 - 稜線 10:16 - 金ヶ谷山 10:39 - 朝鍋鷲ヶ山 昼食 11:48 ~ 12:20 - 穴ヶ峠 13:22 - 三平山 14:11 - 県境登山口 15:01

隊員

船越 仁 角原 覚 赤木貴久子 角原鶴子 丹治千束 小倉真須美



朝6時、岡山ICでの気温は10℃もあり、蒜山でも9℃と生暖かい。空の色は日が昇るにつれ暗くなってきた。昼前に寒冷前線が通るとの予報から、稜線上の天候異変は予想しての出発となった。異常天気になれば即刻下山しよう。

林道はズボズボ、暫くしてカンジキを付けた。この処の陽気で溪流の流れは一段と勢いを増している。前回の稜線からの下り林道は余りにも長かった。今日の上りは林道を1km短縮出来る直尾根コースを行く。左記地図でピンク破線です。

ところが林道を少し行き過ぎてしまい、渡渉する羽目になりました。その上雪の付いていない急尾根は濡れた落葉に滑り、カンジキの歯と柴木を掴んで登ります。見事、登山口に着いた。金ヶ谷山頂上で雨は霰に、そして雪に変わったが突風の気配は無い。広い朝鍋鷲ヶ山頂上はガスの中、冷えた体をお茶で温め昼食とした。目の前の小枝には霧氷が付き始めた。寒いのでカップの下にダウンを着込み、手袋と帽子も着替えて早々に穴ヶ峠に向かって下山です。三平山、今日は何にも見えません。

土塁コースだけは雪を期待していたのだが、ぬれ落ち葉に手こずりながらの下山となりました。

こんな状況なので、今年の積雪期中央分水嶺踏査はこれでお終いのようです。